

## はじめに

わたしたち三人が執筆に参加した前作『中国語への道—近きより遠きへ—』の初版から十年、その改訂版からも5年、語学教育をとりまく環境も変化し、従来のテキストでは授業がしにくいところも大学などでは増えてきました。そこで前作の会話も講読もやる、という基本的な考えを分冊という形で活かして『初級中国語 会話編 自分のことばで話す中国語』『初級中国語 講読編 自分のことばで表現する中国語』という二冊のテキストを作ることになりました。

前作『中国語への道』のスタートを振り返ってみます。近代の外国人による外国人のための中国語教科書の最高峰といわれるイギリス人トーマス・フランシス・ウェードの『語言自邇集』という伝説的な一冊がありますが、わたしたちはそこに一步でも近づきたいという気持ちで儒教の経書『中庸』の一節「君子の道は、たとえば遠きに行くは必ず邇き自りするが如く、たとえば高きに登るは必ず卑き自りするが如し。」から「—近きより遠きへ—」という副題をつけました。また、第二次世界大戦前の上海には東亜同文書院大学という中国をフィールドに活躍する人材の育成を目的とした「日本の」大学があって、中国語の学習には『華語萃編』という非常に大部なテキストが使われていました。いまの大学生と変わらない年齢の日本人が実際にそうしたテキストで勉強した歴史があることも、中国語を学習する皆さんには知っておいて欲しいと思います。

前作は各課に会話文と閲読の短文がある欲張りな構成でした。本テキストはコンパクトさを目指して分冊はしましたが、質と量が将来的な評価にも耐えうるようなテキストを、という考えは変えていません。というのも、中国語は日本語と同じく漢字を使用する言語ゆえに、取っ付き易い外国語ではあるけれども、決して易しい外国語ではなく、ゴール迄に要する努力は外の外国語と同じだからです。ただ取っ付き易さを活かさない手はありませんから、随所で学習者が興味を保てるような工夫はしています。

近代にまでさかのほらずとも、三人の著者が学んだ時代と現在とでは日本での「中国語」あるいは「中国語学習」を取り巻く環境も随分と変わっています。当時は国内ではまだまだ中国のひとは珍しく、学習者の中国語学習の動機も「中国を知りたい」に直結していました。それが今では国内で中国のひとと交流できる機会のあることが当たり前になり、中国でも雑誌『知日』や『在日本』の人気に象徴されるように、自分の視点で日本を知りたい、もっと日本を体験したいというひとが飛躍的に増えています。中国語をやるのならまず中国のことを理解すべきという考えかたもあるでしょうが、すぐに国内で中国語でのコミュニケーションの機会があるならば、まずはそこからスタートして、そのさきの「中国を知りたい」につなげ、さらには中国にも出かけて自分自身の目で見た中国理解につなげるのも一つのあり方ではないかと思います。

それには自分の考えを中国語で表現する発信と、中国人が中国語で考えたり話したりすることを理解する受信の両方が必須です。学習者にはどちらか一方ではなくて、中国語で書かれたり、話されたりしたことを理解できる能力と、自分の考えたことを中国語で発信できる能力を同時に身につけるスタンスで勉強して欲しいと思うのです。

本テキストは、まず発音編3課と、数の表現を学ぶ1課、そこから会話或は講読の本文と文法ポイ

ント、練習問題からなる本文編の10課からなる全14課という構成です。本書の特徴は、各課の学習を通して「なにを表現できるようになるか」という目標を設定したこと、本文とポイントの学習事項をたしかめる検定スタイルの練習問題をつけたこと、さらに巻末に実際のコミュニケーションを想定した会話や自己紹介ユニットをそなえた実践的なドリルもつけたことです。練習問題やドリルは本文と自由に組み合わせて、各自のスタイルで学習できるようレイアウトしています。また、会話編、講読編を併用するとより効果的な学習ができるように内容はリンクさせています。

本書のサブタイトル「自分のことばで」には、将来中国語を話したり使ったりすることのできる日本人が少しでも増えてほしいという願いを込めています。どの言語であれ、自分の気持ちや考えのないことばはひとに届かないでしょう。ひとに届くことばを発するためには、自分のなかにことばがなくってはなりません。「自分のことばで」話し、表現するために、できるだけたくさんの「ことば…中国語」を蓄えてください。

本書は金星堂の川井義大さんの全面的なサポートのもとに完成しました。ここに感謝の気持ちを表します。

このテキストを授業で使用くださる先生方には内容について忌憚りの無いご批判をお願いすると同時に、学習者の皆さんには、このテキストを通して中国語の基礎をしっかり身につけてもらえることと期待しています。

2016年9月 著者

本テキストには、単語表の語に品詞を付記しています。文法の理解に役立てていただければ幸いです。『現代漢語詞典第6版』を基準に、日本で現在用いられている中国語辞書の記述も参考にしています。

#### 【本テキストの品詞名表示法】


名	名詞	助動	助動詞	量	量詞	動	動詞	助	助詞
感	感嘆詞	形	形容詞	介	介詞	数	数詞	副	副詞
接	接続詞	接辞	接頭辞・接尾辞	代	代名詞（人称・指示・疑問）				



## 音声ファイル無料ダウンロード



<http://www.kinsei-do.co.jp/download/0704>

この教科書で  DL00 の表示がある箇所の音声は、上記 URL または QR コードにて無料でダウンロードできます。自習用音声としてご活用ください。

- ▶ PC からのダウンロードをお勧めします。スマートフォンなどでダウンロードされる場合は、ダウンロード前に「解凍アプリ」をインストールしてください。
- ▶ URL は、検索ボックスではなくアドレスバー（URL 表示覧）に入力してください。
- ▶ お使いのネットワーク環境によっては、ダウンロードできない場合があります。

 CD00 左記の表示がある箇所の音声は、教室用CDに収録されています。

# ● ● 目 次 ● ●

<b>第 1 課</b>	はじめの一步 ————— 6 発音編 1 — 声調と母音	声調 中国語の音節 韻母 1 (単母音) 韻母 2 (複母音)
<b>第 2 課</b>	つぎの一步 ————— 8 発音編 2 — 子音と鼻母音	声母 1 (唇音・舌尖音・舌根音) 声母 2 (舌面音・そり舌音・舌歯音) 韻母 3 (鼻母音)
<b>第 3 課</b>	そのつぎの一步 ————— 10 発音編 3 — 軽声と声調変化	軽声 “不”と“一”の声調変化 第 3 声の連続 r 化
<b>第 4 課</b>	さらなる一步 ————— 12 — 数の言い方と数を使う表現	基本の数 年齢 値段 時刻 日付 曜日
<b>第 5 課</b>	你们早上吃什么? ————— 14	<b>1</b> 代名詞 ————— 16 <b>2</b> 「～は…である」の“是” <b>3</b> 主語+動詞(述語)+目的語 <b>4</b> 疑問文 1 疑問詞疑問文 “什么” “谁”
<b>第 6 課</b>	我叫王丽丽。 ————— 18	<b>1</b> 副詞 “也” “不” “都” と文中の位置 — 20 <b>2</b> 疑問文 2 推測を表す “吧” <b>3</b> 疑問文 3 “吗” <b>4</b> 疑問文 4 “呢” を使った省略疑問文
<b>第 7 課</b>	我家在西安。 ————— 22	<b>1</b> “的” の省略 ————— 24 <b>2</b> 所在と存在を表す表現 <b>3</b> 形容詞述語文 <b>4</b> 場所を表す代名詞 <b>5</b> 疑問文 5 選択疑問文 “A 还是 B ?”

<b>第 8 課</b>	我今年 18 岁。 ————— 26	<b>1</b> 名詞述語文 ————— 28 <b>2</b> 量詞 <b>3</b> 比較文 <b>4</b> 疑問文 6 反復疑問文
<b>第 9 課</b>	我家离学校很近。 ————— 30	<b>1</b> 介詞“离”“从”“到” ————— 32 <b>2</b> 時刻（時点）と文中での位置 <b>3</b> 連動文 主語 + 動詞 1 + 動詞 2 <b>4</b> 時間の長さ（時量）と文中での位置
<b>第 10 課</b>	我在私塾打工。 ————— 34	<b>1</b> 介詞“在” ————— 36 <b>2</b> 二重目的語をとる文 <b>3</b> 数量補語 <small>主語 + 「いつ / 期間」 + 動詞 + 「時間 / 回数」 + 目的語</small> <b>4</b> 助動詞 願望を表す“想”
<b>第 11 課</b>	我昨天买了一本《关西漫步》。 — 38	<b>1</b> 進行を表す表現 ————— 40 <b>2</b> “了” 1 動作の完了・実現 <b>3</b> 結果補語 <b>4</b> 経験 動詞 + “过” <b>5</b> 動詞の重ね型
<b>第 12 課</b>	我的爱好是游泳。 ————— 42	<b>1</b> 助動詞 <small>習得の“会” 能力の“能” 許可の“可以” ——— 44</small> <b>2</b> “了” 2 文末で変化を表す <b>3</b> 方位詞 場所を表す表現 <b>4</b> 持続を表す助詞“着” <b>5</b> 修飾語と被修飾語をつなぐ“的”
<b>第 13 課</b>	我胃口特别好。 ————— 46	<b>1</b> 方向補語 ————— 48 <b>2</b> 可能補語 <b>3</b> 使役動詞“让” <b>4</b> 主述述語文 <b>5</b> 介詞“把”
<b>第 14 課</b>	我又被老师批评了。 ————— 50	<b>1</b> 様態補語 ————— 52 <b>2</b> 様態補語副詞“又”“再” <b>3</b> “(是)~的” <b>4</b> 受け身 <b>5</b> 近未来表現

# 第五课

Dì wǔ kè

## 你们 早上 吃 什么?

Nǐmen zǎoshang chī shénme?



1. 物事の説明（何か、どんな人か）ができる。
2. だれがいつ何をするかを伝えることができる。

### 単語表

DL 35

CD 35

本文	中国語	ピンイン		ポイント	中国語	ピンイン	
1	这	zhè	代	これ	17	我	wǒ 代 わたし 複数は“我们”wǒmen
2	是	shì	動	～は…である	18	你	nǐ 代 あなた 複数は“你们”nǐmen
3	面包	miànbāo	名	パン	19	您	nín 代 “你”の敬称 複数の形はない
4	和	hé	接	～と…	20	她	tā 代 彼女 複数は“她们”tāmen
5	咖啡	kāfēi	名	コーヒー	21	哪	nǎ 代 どれ
6	那	nà	代	あれ	22	买	mǎi 動 買う
7	包子	bāozi	名	パオズ	23	盒饭	héfàn 名 弁当
8	牛奶	niúniǎi	名	牛乳	24	红茶	hóngchá 名 紅茶
9	日本人	Rìběnrén	名	日本人	25	不	bù 副 ～しない、～でない
10	他	tā 代	彼	複数は“他们”tāmen	26	大学生	dàxuéshēng 名 大学生
11	早上	zǎoshang	名	朝	27	留学生	liúxuéshēng 名 留学生
12	吃	chī	動	食べる	28	课本	kèběn 名 テキスト、教科書
13	喝	hē	動	飲む	29	谁	shéi 代 だれ、どなた
14	中国人	Zhōngguó rén	名	中国人	30	老师	lǎoshī 名 先生
15	你们	nǐmen	代	あなたたち			
16	什么	shénme	代	何			

食べ物と飲み物が並んでいます、林剛さんと林玲さんの朝ごはんのようです。

这是面包和咖啡，那是包子和  
Zhè shì miànbāo hé kāfēi, nà shì bāozi hé

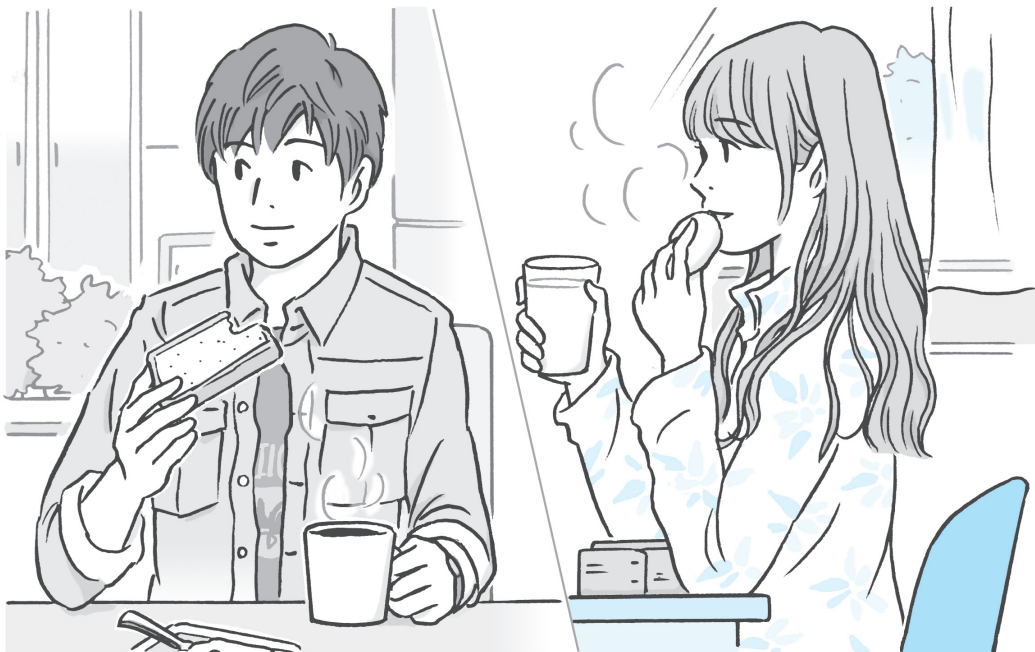
牛奶。林刚是日本人，他早上吃  
niúǎi. Lín Gāng shì Riběnrén, tā zǎoshang chī

面包，喝咖啡。  
miànbāo, hē kāfēi.

林玲是中国人，她早上吃包子，喝  
Lín Líng shì Zhōngguó rén, tā zǎoshang chī bāozi, hē

牛奶。  
niúǎi.

你们早上吃什么？  
Nǐmen zǎoshang chī shénme?



## 1 代名詞

### (1) 人称代名詞

第一人称 我 wǒ 我们 wǒmen 第二人称 你 nǐ 您 nín 你们 nǐmen

第三人称 他/她 tā 他们/她们 tāmen

### (2) 指示代名詞

	こ	そ	あ	ど
近	这	←→	那	远
	zhè		nà	nǎ

## 2 「～は…である」の“是” A“是”B 「AはBだ」↔ A“不是”B 「AはBではない」

### (A是B)とその否定(A不是B)

我 是 大学生。  
Wǒ shì dàxuéshēng.

我 不 是 大学生。  
Wǒ bú shì dàxuéshēng.

她 是 留学生。  
Tā shì liúxuéshēng.

她 不 是 留学生。  
Tā bú shì liúxuéshēng.

这 是 课本。  
Zhè shì kèběn.

这 不 是 课本。  
Zhè bú shì kèběn.

## 3 主語+動詞(述語)+目的語 ↔ 否定形“不”+動詞

我 买 盒饭。  
Wǒ mǎi héfàn.

我们 喝 红茶。  
Wǒmen hē hóngchá.

我 不 喝 牛奶。  
Wǒ bù hē niúǎi.

你们 吃 什么？  
Nǐmen chī shénme?

## 4 疑問文1 —— 疑問詞疑問文 “什么”・“谁” 📍「どこ」は第7課

那 是 什么？  
Nà shì shénme?

你 买 什么？  
Nǐ mǎi shénme?

你们 喝 什么？  
Nǐmen hē shénme?

谁 是 老师？  
Shéi shì lǎoshī?

- ① 中国語の音声聞いて、ピンインと簡体字で書き取り、日本語に訳しましょう。

	ピンイン	中国語	日本語
①	_____	_____	_____
②	_____	_____	_____
③	_____	_____	_____

- ② 日本語をヒントに、( ) の語句を並べ替えましょう。

- ① 私たちはコーヒーを飲みます。  
 (咖啡 我们 喝)。  
 kāfēi wǒmen hē → \_\_\_\_\_
- ② あなたは何を食べますか。  
 (吃 什么 你) ?  
 chī shénme nǐ → \_\_\_\_\_
- ③ 私はパンを買います。  
 (我 面包 买)。  
 wǒ miànbāo mǎi → \_\_\_\_\_

- ③ 中国語の音声聞いて、空欄に簡体字で語句を補いましょう

- ① ( ) ( ) 日本人。  
 Ribénrén.
- ② ( ) 是 ( ) 。  
 shì .
- ③ ( ) ( ) 面包。  
 miànbāo.

- ④ 次の日本語を中国語に訳しましょう。

- ① 誰が先生ですか。  
 \_\_\_\_\_
- ② これは何ですか。  
 \_\_\_\_\_
- ③ あなたたちは何を飲みますか。  
 \_\_\_\_\_



1 次の写真・絵をヒントに、中国語の会話を完成させましょう。



卡布奇诺  
kǎbùqínuò



拿铁咖啡  
nátīe kāfēi

★ 卡布奇诺 kǎbùqínuò (名) カプチーノ  
拿铁咖啡 nátīe kāfēi (名) カフェラテ

A: 这 是 什么?  
Zhè shì shénme?

B: \_\_\_\_\_。

A: \_\_\_\_\_ ?

B: 那 是 \_\_\_\_\_。  
Nà shì \_\_\_\_\_。

A: 你 喝 什么?  
Nǐ hē shénme?

B: \_\_\_\_\_。

2 次の語句を発音して覚えましょう。その上で、問題1を参考にして会話を組み立てましょう。

汉堡包 hànǎobāo (名) ハンバーガー

冰淇淋 bīngqílín (名) アイスクリーム

可口可乐 kěkǒukělè (名) コカコーラ

橙汁 chéngzhī (名) オレンジジュース

苹果汁 píngguǒzhī (名) アップルジュース



3 次の中国語の文の( )に“吃”“喝”“是”“什么”“谁”から適語を入れて、日本語に訳しましょう。

1. 我 ( ) 面包。  
Wǒ miànbāo.

2. ( ) 是 学生?  
shì xuésheng?

3. 你 吃 ( ) ?  
Nǐ chī ?

4. 她 ( ) 老师。  
Tā lǎoshī.

5. 他们 ( ) 可口可乐。  
Tāmen kěkǒukělè.

4 次の日本語を中国語に訳したときに、下線部にあたるものを簡体字で書きましょう。

1. だれが大学生ですか。

\_\_\_\_\_

2. パンを食べる。

\_\_\_\_\_

3. コーヒーを飲む。

\_\_\_\_\_

5 本文の内容と各 Step の説明をヒントに自分のことを説明してみましょう。

テーマ：自己紹介 1 (食べ物・飲み物、国籍)

Step. 1 这 是 \_\_\_\_\_ 和 \_\_\_\_\_。(食べ物・飲み物)  
Zhè shì \_\_\_\_\_ hé \_\_\_\_\_.

Step. 2 我 是 \_\_\_\_\_。(国籍)  
Wǒ shì \_\_\_\_\_.

Step. 3 我 早上 吃 \_\_\_\_\_, 喝 \_\_\_\_\_。(Step1 から)  
Wǒ zǎoshang chī \_\_\_\_\_, hē \_\_\_\_\_.